

## 令和2年度第1回医療従事者研修 グループワーク意見のまとめ（事例2）

- ・長女の希望のみで動いている、夫の意向も確認する→本人、CM、家族、Dr.も含めて全員の意思を一緒に共有
- ・支援の選択肢を示す
- ・介護負担を減らすような支援
- ・キーパーソンである長女と主治医とのコンタクトが必要
- ・本人の人生の最終をどこで、どう過ごしたいのか？意向を示していることを尊重した協議が行われていない
- ・夫も看取りを希望。その思いを聞き、介護負担軽減へのプラン提示を家族（キーパーソン含み）説明なし
- ・終末期の治療への予測に関する Dr. の説明をまず聞き確認していない
- ・本人は自宅で死にたいと希望、夫もそれを叶えてあげたい。
- ・父親の介護負担を長女は心配しているが同居で本人の介護する夫の気持ちも大事、本人の気持ちも大事
- ・家族の話し合いの場をもつ
- ・意思決定できる時は本人の意に沿うのが基本
- ・CMとしては、本人の意思を軸に実際の介護力を評価し手立てを考えるべき
- ・誰のためのCMか？
- ・夫の介護負担がどこにあるのか？そこを具体的にしていくなのがCM
- ・専門職としての関りが見えない
- ・相談がない本人、夫、医師の気持ちの支援
- ・キーパーソンのみの意向で動いている
- ・医師の看取りの意向を無視
- ・状況確認（本人、夫との話し合い）が必要だった
- ・夫の介護負担がどこまであったのか
- ・軽減する方法を一緒に考えてもよかった（サービスの手立てなど）
- ・別居の長女が知らないことがあったかも
- ・Dr.との連携により夫の負担軽減できたかも
- ・Dr.と一緒に考えられるとよかったのかも
- ・娘さんが父の介護負担を気にする理由
- ・要介護3になるまでに（選択肢が増すので）娘との連携
- ・Dr.を中心とした見通し（サービス導入）
- ・CMとDr.がもっと連携して夫の介護負担について話し合うべきだった（どのくらい、どの部分に介護が必要か？）
- ・サービスの料金も含めてCMと家族が話をできた？
- ・情報共有、提供できた？
- ・夫の介護状況の評価
- ・対応方法→必要なレスパイトは？
- ・長女の想いをきちんとアセスメントして対応すべき方針を決める
- ・ケアマネも要介護3になる間に娘と関係をもてたらよかったのかも
- ・要介護3の料金の説明などのサービス内容の説明
- ・チームの根回し、話す順序
  - ①施設入所でもいいのか？かかりつけ医に言わないまま
  - ②在宅看取りのイメージつきにくいのでイメージしやすいように説明する→変化  
長女さんの性格にもよるがDr.から説明してもらおうのもある
  - ③在宅看取りのどこの部分が不安なのかを紐解き、明確にする  
見通しを立てて施設情報を探しておくのはありだが、勝手に施設は探さない